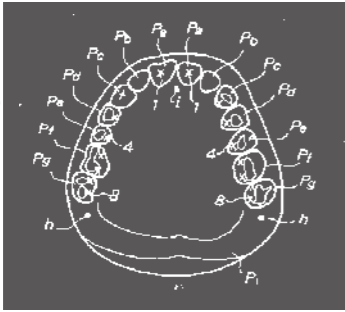


ペンリレー

「終活に向けて～現役ですが～」

甲府21ワイズメンズクラブ 鎌田 巖

1月号のペンリレーで、山縣さんが「終活」という言葉を使いました。私も80才を過ぎ、まだ現役の矯正歯科医師として毎日診療をしています。昭和38年に歯科医師免許を取得し、昭和47年に当時まだ珍しかった矯正歯科専門に開業して現在に至ります。私の大部分の先輩、同級生、後輩の歯科医師は第一線を退いています。患者に明日から診療を辞めま



すから後は言えません。を辞めるに在治療中の療をどうす療を気持ちる事を最優

その為には患者の希望をよく把握する事が大事です。その方法は
1 私の診療所で後の治療を継続して、後続の矯正歯科医師に託す。

2 患者自身が他に希望する診療所に転医する。
いずれの方法も後の治療を正確に継続する事が重要です。カルテを初めその他の資料の整理、さらに治療費の清算を、誰もが納得できるようにする事が大切です。この2つの整理できていれば、患者の引継ぎは大丈夫です。

後は診療を続けてきた45年間の3000症例に及ぶ症例の整理です、カルテ、写真、レントゲン写真、上下顎歯列の石膏模型は診療所開設以来の全ての資料は3階に保管されています。これが私の財産です。資料はほとんどアナログですので整理してコンピュータに入力するにはかなりの時間が必要です。

出来たら全症例を整理したいのですが、今診療時間の合間に空き時間をみて整理しています。やっと1割程が整理出来たので、その一部が出来たら会員卓話(私の臨床)として発表する機会があったらと思っています。

(次号は 古屋 秀樹さんの予定です)

会員在籍者数	30名	(2019年3月末現在)
3月の出席率		
例会出席数	25名	
第二例会出席者数	28名	(第二例会のみ3名)
メイキャップ	0名	
28÷30=0.93	93%	

項目	ニコニコボックス	バザー収益金	クリスマスオークション	切手
目標値	250,000	50,000	50,000円	5,000g
3月の合計	22,180			
3月末迄累計	295,980	136,570	59,910円	1,250g
達成率	118.4%	273.1%	119.8%	25%

山梨YMCA便り

山梨YMCA 総主事 露木 淳司


「羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。」山梨YMCAの2019年度の基本聖句です。ヨハネによる福音書10章にある聖句ですが、かつて、ニュージーランドを旅した時にテカポ湖という湖のほとりに「良き羊飼いの教会」という名の石造りの教会がありました。この世のものとは思えないような幻想的な雰囲気に囲まれたチャペルが印象的でしたが、それから約20年の時を経て、この良き羊飼いの意味について学ぶ機会がありました。良き羊飼いとは言うまでもなくイエスさまのことです。イエスさまは羊を守るためには命も捨てることとして、十字架にかかることを暗に示されます。オオカミが襲ってくると羊を置いて逃げてしまうような、雇わ



冬のフクロウキャンプの八ヶ岳少年自然の家敷地内での一コマ

れ羊飼いたちの下にいる羊たちのことを憂えています。イエスには、ご自分の囲いに入っていないすべての羊たちを救わなければならないという使命感があります。私たちYMCAは、基本原則やそれぞれのYMCAの使命の中で、このイエスの生き方に倣う活動をするように求められています。今までの山梨YMCAの囲いには主に心身ともに健康な青少年ばかりが集められていました。近頃では介護を必要とする高齢者や、発達障がいの子供たちが加えられ、新しい会館では新たに乳幼児や留学生、外国籍市民などを招き入れようとしています。すべての人が良き羊飼いに導かれて一つの群れとなることを夢見ているのです。

いよいよ新会館建設の年度に入りました。連休明けには保育所、8月末には本館の着工を予定しています。どうか最初から最後まで良き羊飼いの導きを信じて進む、弱き羊の群れに過ぎない私たちですが、ワイズメンの皆様のお祈りでさらに強め、お支えいただけましたなら幸いです。



THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

山梨県甲府市中央5丁目4-11
山梨YMCA青少年センター
〒400-0032 TEL 055-235-8543
FAX 055-235-8553

国際会長主題	: 私たちは変えられる	Moon Sang-bon (韓国)
アジア太平洋地域会長主題	: アクション!	田中 博之 (東京多摩みなみ)
東日本区理事主題	: 為せば、成る	宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)
あずさ部長主題	: 未来はそれに備える人のものである	廣瀬 健 (甲府21)
甲府21クラブ会長主題	: 世代を超えて、笑顔で奉仕	野々垣健五

甲府21ワイズメンズクラブ
2019年4月会報
強調月間
LT Leadership Training

今月の聖句

「見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。あなたたちはそれを悟らないのか。」
(イザヤ書43章19節)

清藤 城宏 選

会長挨拶
— 桜、咲きました。21も咲こう!! —
甲府21ワイズメンズクラブ会長 野々垣健五

「令和」という文字に浮かれたエープリルフールでした。この文字に今年には浮かれていくのでしょうか? その間に桜は各地で咲き始め、満開を迎えています。4月1日付の山日新聞の紙面に記者が撮った10ヶ所の桜。ショットはなかなかでした。



この先は4月13日(土)のベビーカーコンサート、そして、小野興子さん、依田友紀さんの入会式と、楽しいイベントが続きます。入会式には依田さんのフィアンセの礼子さんもと、ハッピーです。甲府21は4月13日をもって32名のメンバーとなります。一方、ワイズメンズ国際区においては、「5人で1クラブとして承認」という仕組みでクラブ数を増やそうとしています。皆さんはどちらが良いと思われませんか? 私達も議論を戦わせましょう。私ならば「年金ワイズメンズクラブ」もあって良いのかなあとと思います。さて、先日、認知症機能検定試験を受けました。75才以上で、交通違反2点の罰則を受けた人が対象者で、10人が一緒でした。費用は750円。皆様、受けなくて済む様に気を付けて下さい。試験の結果、私は75才と9ヶ月、94点(100点中)という事で、医師への相談は免れ、ホッとしました。そこで頭に浮かぶのは、健康で元気な間、ワイズメンで過ごす為の最善策は何か? という見過ごせない課題です。やはり、多くの仲間との語り合い、情報交換、飲み合いはとても良い事だと結論付けします。6月末迄、まだまだ沢山のイベントが控えています。どうぞ、元気にご協力下さい。



王仁塚の桜 内藤 学氏撮影

● 2019年4月 例会プログラム ●

日時: 2019年4月13日(土) 12:30~13:15
会場: 山梨県立図書館2F多目的ホール (甲府市北口2-8-1)

司会: 山本メン

①開会点鐘	野々垣会長
②ワイズソング・ワイズの信条	一同
③新入会員の入会式	進行 清藤メン
並び方 誘導	
立会者の紹介	野々垣会長
入会者の紹介	(宮内理事、廣瀬あずさ部長、菰洲あずさ部EMC主査)
入会者の紹介	野々垣会長
キャンドル点火	
入会宣言(会長の入会式式文に添える「入会意志」の宣言)	
立会人から入会者へバッジ装着と入会キット渡し	
歓迎の挨拶	東日本区理事 宮内友弥様
入会の挨拶	新入会員
☆☆☆ 入会祝福(拍手) ☆☆☆	
④YMCAの歌	
⑤閉会点鐘	

【ゲスト】

東日本区理事:	宮内 友弥様
あずさ部会員増強主査:	菰洲 光彦様

3月例会報告

甲府21ワイズメンズクラブ 寺田 喜長



日時 2019年3月5日(火) 19:00~
会場 山梨YMCA青少年センター
山梨YMCAの司会にて開会、葉袋メンが選ばれた今月の聖句は「ルカによる福音書21章34節」はまさに今の自分に当てはまると自嘲気味に語られ、松村禎夫メンは「世界を変えた3つのリンゴのお話」を紹介、会長挨拶では横浜YMCAに係るワイズメンは81名、山梨YMCAに係るワイズメンは80名、しかし横浜YMCAの年収は50億円以上、山梨YMCAの年収は1億5千万円、横浜Yへのワイズメンの関わりは強くない。山梨は当クラブも含めワイズがYMCAを支える意識が強い特徴を生かし山梨YMCAの活動を広げていくヒントが有るのではと。3月2日の中島家の整理への協力感謝と中島家より深い感謝の挨拶を頂いたと報告がありました。
ゲスト卓話は三綿直人氏の「人生の祝福の鍵、最も大切なものは何か」題して講演頂きました。2009年より聖書講演を行うキリスト伝道者として年40週に及ぶ聖書講演を各地にて精力的に行っている大変お忙しい中、鎌田メンの紹介にて講演をお聞きする事が出来ました。諸報告では今後の行事、BCコンサート、入会式、あずさ評議会、草津クラブとの合同例会、東日本区大会、YMCAチャリティーランを確認して会員の協力要請をお願いし、YMCAの歌、閉会点鐘にて閉会。
出席者「メン」赤根、飯田、荻野、小沢公、鎌田、功刀、輿水、後藤、駒田、作田、佐藤、清藤、露木、寺田、奈良田、野々垣、廣瀬、古屋、藤原、松村禎、松村豪、葉袋、山縣、山本、米長、(25)「メネット」荻野、鎌田、野々垣、廣瀬、松村仁、「ゲスト」三綿直人氏と友人5名、依田友紀、合計37名(敬称略)

4月誕生者
メン 稲垣浩司メン、4月24日 1名
メネット

「ゆっくり人生」

小野 興子



「後悔などあるはずがない」マリナーズ、イチローの現役引退発言は耳新しい。45歳で「年齢に勝てず無念の決断」の新聞見出しに、それぞれの人生、比べるべきものではないと承知しながらも、その倍近くを生き、今だ、やり切っていないと感じて焦る我が生き方に「はっ」とする。確かに体力が勝負のスポーツ選手にとって、45歳まで体力を維持できたのは、イチローの限界に挑んだ弛まぬ努力があつてのことであろう。拍手を送りたい。見事である。

20歳代で臨床看護の道を出た私は、私なりの努力で、足に豆タコをつくるほどに患者さんの間を駆け巡っていたことを思い起こす。しかし、看護の現場は7年間で離れ、その後の殆どを看護教員として過ごしてきた。一般に言われる定年を迎えても、何か人生における忘れ物をしている感は免れなかった。再び看護の現場に立ちたいと努力をはじめた。幸いなことに、私の専門分野はがん患者さんなどの治療困難となった方々(人生の最終段階にある方々)を最期まで看取ることである。だから年齢が高くなった私でも、それぞれの人生に伴ってゆっくりと歩むことはできる。周囲の方々のご理解とご協力をいただき、ふたたび現場に立つことが許された。YMCA「ぶどうの木」での高齢者との毎日は、私の人生における積み残しの課題を生きることを可能にしてくれた。人生の終盤に差しかかり、生きることに努力を要する高齢者との出会いが、逆に私の生きる力を支えてくれていると実感できる日々である。

折しも、今「人生100年時代」を迎えている。高齢期をどう生きるかが問われるなかで、支え合って生きる場を与えられていることに感謝である。まだまだ果たし切れない使命があると感ずる昨今でもある。45歳にして「後悔などあるはずがない」と言い切るイチローを眩しく感じつつも、私に与えられたゆっくり人生を悔いを残すことなくもう少し歩み続けたいと願っている。

新入会です

依田 友紀



この度、甲府21ワイズメンズクラブに入会させていただくことになりました依田友紀と申します。甲斐市で父の跡を継ぎ建設業を営んでおります。簡単なリフォームから新築・店舗など建築に関わることでお手伝いできることがありましたら、お気軽にお声をかけてください。甲府21ワイズメンズクラブでは、皆様との交流を大切に、多くのことを学んでいきたいです。至らぬところがあると思いますが、皆様のご指導のほどよろしくお願いいたします。

「3月例会 三綿直人氏卓話 要旨」

◆「人生の祝福の鍵」-本当に大切なものは何か

お話は冒頭、「組織にとって最も大切なものは何か」といいますか」という問いかけで始まりました。資金、才能、ビジョン、情熱、モチベーション、企業倫理、株主など、大切なことはたくさんあるように思えます。しかし、最も重要なのは、「人」であり、それぞれの人格が成長することによって結ばれる「信頼関係」であることが確認されました。



次に、人格の成長を妨げる2つの要素について



お話がありました。一つ目は、先入観です。知識はとても重要ですが、その知識が凝り固まると先入観となるということでした。先入観は、信頼関係を阻害します。もう一つが、狭い視野の考えです。多角的、多面的に考えることができない人は、人の気持ちが理解できず、信頼関係を結ぶのが難しくなるということでした。

そして、結びは、「信頼関係」は、「育まれるもの」であり、人に仕えるリーダーによって育まれるのだというお話でした。リーダーの最大の仕事は、「人育て」であるということが強調されていました。現代は何でもインスタントに手に入る時代ですが、本当に大切なものは時間をかけて育まれます。その本当に大事なものが人格であり、信頼関係なので、リーダーの仕事は長期的なものであることがよくわかりました。YMCAの歴史は175年、人育ての機関だと思います。そのYMCAを支えている私たちの上に、豊かな祝福を願っています、というお話で締めくくられました。スクリーンを使って分かりやすく、説得力のある、重要なお話を伺うことができました。

「東京サンライズクラブ設立30周年記念祝会」

甲府21ワイズメンズクラブ 佐藤 重良

●平成31年(2019年)3月23日東京サンライズクラブの30周年記念例会に出席しました。出席者は駒田・相川・寺田・荻野・佐藤(敬称略)の5名。私はわがクラブも2020年11月には30周年を迎えることになるので(予備知識を得るために)出席させてもらった。●場所 東京日本橋のブラッセリー東洋・日本橋(日本橋高島屋の近く)2階 ●開会12時~15時



□12時に大谷博愛会長の開会点鐘ではじめられた。ワイズソングの後、大谷会長歓迎挨拶。続いて祝辞はアジア太平洋地域会長・田中博之、東日本区理事・宮内友弥、スポンサークラブの東京山手クラブの功能文夫の各位様から。引き続き、東京サンライズクラブの30年の歩みのスライドと30周年記念行事を紹介された。発足当初例会は朝の7時(シンボルマークの早起き鳥)から実施。例会を終えて各人は会社にむかったとの事でした。懇親会に入りIBCの台湾ユニオンKenneth王 勝輝、DBCの東広島の谷本 秀康 DBCの京都プリンス 宇高 史昭の各位様が挨拶された。東京八王子の久保田貞視会長の乾杯で開演したアトラクションは「童謡100周年に寄せて」(北原 白秋を歌おう)であった。歌・榎本はるみさん、伴奏・金子絵里さんであった。素晴らしい歌であったが、懇親会が始まったので雑音が多く少し聞きにくかったのが残念であった。参考になったこと

- 1 発足以来の活動として、YMCA山中湖のセンターをボランティア活動で支援している事である。例えば古くなった施設の塀を修理する。クリスマス会には地元の子供たちをお招きして紙芝居やゲームを実施して交流していること等である。
2 IBC・DBC・合同例会等積極的に活動されて交流を深めている事。
3 交通の便は最高に良かった。なんといっても日本橋高島屋のすぐ近くであるから。
4 会場は参加者90名ほどであったが、狭く感じた(日本橋の中心のレストラン2階なのでやむを得ないと感じた)が素晴らしいアトラクションであった。
大変いい勉強になりました。反省を踏まえて、当クラブの30周年の行事を計画したいと思います。 以上

